

平成30年度 第1回 新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会 議事録		
開催日時	平成30年10月15日(月) 午後1時30分～午後3時30分	
場 所	新潟市役所 本館 6階 講堂	
出席者	委員	齊木委員 若月委員 渡辺(順)委員 後藤委員 比企委員 渡辺(律)委員 田中委員 寺瀬委員 長井委員 大高委員 小林委員 廣川委員 計12人
	事務局	市民生活部長 市民生活課長 市民生活部副参事 安心・安全推進室長 同主査 同副主査 計6人
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市民生活部長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p><input type="checkbox"/>齊木委員 <挨拶></p> <p><input type="checkbox"/>事務局 <(1)第4次推進計画における数値目標の達成状況について説明></p> <p><input type="checkbox"/>若月委員 資料1の(3)青色回転灯装備車委嘱団体数については毎回この協議会で取り上げられますが、委嘱団体数はほとんど変わっておりません。青色回転灯は効果があるので新潟市は取り組んでいると思うのですが、地域のものとしてはあまりピンとこない所があります。北区が一番登録数が多く、たまに見かけるのですが、効果について教えていただきたいのと、なかなか増えない理由を教えていただきたいと思います。</p> <p><input type="checkbox"/>事務局 パトロールをしながらアナウンスをしておりますので、その効果はあると考えています。西区の事件の後に危険箇所の総点検を行っておりまして、人通りが少ない所や人気がない所等を中心にパトロールを重点的に行わなければならないと考えておりますので、防犯の効果は十分にあるのではないかと考えております。 また、委嘱団体数がなかなか増えないということですが、今年度に入って1団体増えております。講習会等あって2ヵ月ほど登録までに時間がかかりますので、すぐに始めるというわけにはいきませんが、啓発をしっかりと行いながら、参加する団体を増やしていきたいと思っております。</p> <p><input type="checkbox"/>若月委員 ありがとうございました。私も登録しているのですが、登録したままで終わっています。実際現実的に手続きの書類を見ると、かなり煩雑で条件も厳しいと感じました。アナウンスがあるんですね。アナウンスを聞いたことが一回もなかったものですから。実際地域の人が行うパトロールという歩いて回るというのが主流になっています。今回の危険箇所の洗い出しにおいて、自治会の方は熱意が凄いと感ずることが出来たので、手続きをもう少し簡素化してもらえれば、青色回転灯パトロールをやりたい方はいると思うんです。手</p>	

続き方法であるとか、効果がどれだけあるのかということを知れば、青色回転灯パトロールを行いたい気持ちになると思うので、もし広めようと思うのなら、広報をもう少ししていただければと思います。

□斉木委員

他にごいませんか。なければ次に移りたいと思います。議事の(2)ですが、第4次推進計画の取り組み状況と重点取り組み事例に入ります。事務局からご説明をお願いします。

□事務局

<(2) 第4次推進計画取り組み状況と重点取り組み事例について説明>

<各区の取り組みについて区担当より説明>

□後藤委員

先ほどの説明の中で、子ども対象事件の防止対策として、1年生に対する子どもの体験型安全教室が出てきました。この教室はほとんどの学校で実施されていると思うのですが、この教室を受けることで不審者に対する接し方が分かるな、と思いながら授業のボランティアに関わっておりました。それと同じように、東区の取り組み事例としてやっている地域安全マップづくりがあるんですけど、これも私たちの小学校では8年前の第1回から取り組ませていただいて、学校の授業の中では出来ないことなので、休日に希望者だけでやっております。このマップづくりをやることで、子ども達が景色を見て、安全な場所と危険な場所を察知できることがよく分かりますし、竹尾小学校で確か4年生か3年生でやっていたと思うんですけど、希望者だけではなく、出来ればぜひ全部の学校で学年での授業としてやっていただくと、子ども達にいいんじゃないかと思い、毎年見ております。私たちの学校は700人以上いる学校ですが、希望者ですと毎年20名しか出てこなかったものが、西区の事件を受けてだと思うのですが、保護者の方も気持ちが向いたようで、今年は倍の39名の参加がありました。安全マップづくりを体験することで、3年生くらいの子供でも自分で景色を見て、ここが危ないとか不審者が出そうな場所だということが分かっていたので、ぜひ学校での取り組みとして授業時間内に出来るといいと思います。考えていただけると嬉しいです。以上です。

□学校支援課

今お話がありました授業時間の中で安全マップづくりを行ってはどうかということですが、学校によっては特色ある取り組みとして、教育課程の中で、学年ですとか全校で取り組んでいるという所もあるみたいですが、今年度新潟市では道徳が全国的に教科として始まったということと、外国語活動の授業を先行して実施したということなどもありまして、授業時数の確保に大変頭を悩ませています。今回の痛ましい事件を受けて、安全教育が大切なことということは教育委員会でも十分認識しておりますので、どのような形になるかこの場では申し上げられませんが、それぞれの学校では繰り返し子ども達に働きかけていくような取り組みをするように考えていきたいと思っておりますので、どうぞご理解いただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

□長井委員

危険箇所点検の会議がありまして、色々話をしたのですが、最初に役所が「金がない」と言ったことがありました。そういうことがあると、例えば木がここにあつて危険だということがあつても、金がなくても自分たちはやるという気持ちが行政にないとなかなか進まないで、その点は配慮してほしい。

また、本日先生が出席しておりますが、地域PTAがありまして、ラジオ体操をやっているのですが、子どもがなかなか集まらない。年寄りも積極的ですが、ある時学校にPTAの人達に子どもが出るように指導してくれませんかという話をしたら、学校がPTAにあれをなさいこれをなさいと言うことは非常に難しいと聞いたのですが、その点についてお聞かせいただきたいと思います。

□事務局

西区の事件を受けて、各学校区で危険箇所の総点検を行っております。夏休みには親子での危険箇所の確認を行いまして、警察や地域の方を含めた形で総点検を行い、各学校で小宮先生のマップの観点とは少し違いますが、人通りが少ないとか人から見えにくい箇所をマップに落として各学校でマップを作りましょうということで今動いております。マップが完成した学校からその情報を共有し、人通りがない所であればお金をかけずに我々の防犯パトロールを重点的に行うとか、子ども見守り隊に下校時に人通りの少ないところに立ってもらうとか、工夫をして子どもの見守り活動を効果的に行いたいと考えております。

□事務局

一言目に金が無いからとお答えしたことについては、多いに反省すべきだと思います。金が無いのは事実だとしても、それが一言目ではなく、無いなりにどうしていくのかということ積極的に考え、工夫していくべきだと思います。子供の安全対策については、早速緊急的な予算枠ということで、補正予算を組んで、対策を講じ、既にその制度を始めておりますので、本当に金が無い時にはそういった工夫とか、早い判断等が今後ますます必要になっていくと思いますので、心していきたいと思っております。

□学校支援課

地域PTAの活動についてお話がありましたが、地域PTAの活動は地域保護者の自主的な活動ということになりますので、学校から具体的にこういった活動をやってくださいと言うのはなかなか難しいかなと思います。PTAにはもちろん学校職員も入っておりますので、全体的な運営に関わって方向性を作り出していくのは学校と地域ということになると思うのですが、町内の活動まではちょっと難しいと認識しております。

□長井委員

私は今それだけ言ったのではないのです。私ども常に見回り隊で出ているのですが、私どものほうから子供達にあいさつをします。子供達はいい声であいさつをしてくれます。ところがPTAの方はほとんどあいさつをしてくれないんです。聞いてみるとどこでもそうだと。そういう指導をするなら、自分たちが率先してあいさつをする、今日ごろうさまですね、と一言言えるようなことが犯罪発生を防ぐ一つの方法ではないかなと提案させていただいたのですが、すみません、横道にそれてしまいました。

□長井委員

各町内会に20万、それからコミ協に40万の安全パトロールの特別予算でしたっけ？巻ですと75の自治会があるんですけど、20万使うって大変なんです。見回り隊で出る時に私ども防寒着を着ていないんですね。本庁のほうに照会があったかもしれませんが、防寒着を買っていいですかという質問があったんです。ベストと帽子と誘導棒でいいんじゃないかと、説得はしているんですが、なかなか納得してくれない人がおりまして、簡単に20万使えないという考えの人もいるみたいなので、その辺の解釈をお願いします。

□事務局

9月補正で1自治会、町内会、またはコミ協等団体の子どもを見守る活動に対して、20万円を上限に補助するという予算を計上いたしまして、子どもを見守る活動に限ります。単純にお金を振り分けるということではなくて、活動に対しての補助になりますので、そのような扱いになるんですけど、防寒着がだめということに関しては、担当している市民協働課の職員がおりますので、回答します。

□市民協働課

今ご指摘ありました地域活動補助金の緊急枠の担当課でございます。1団体20万円を振り分けられても全額使いきれないというお話がありましたが、これはあくまで補助金上限額ですので、必ず20万円を消化しなくてはいけないということではございません。地域の活動規模や必要な物品数等に応じて補助金を交付させていただいておりますので、地域の実情に応じて使いやすい形でご申請をいただければと思います。もう1点、防寒着についてですが、見守り活動に必要な主なものとして、皆さんが通常見守り活動の際に着用していただけるようなスタッフジャンパー、スタッフの帽子、子ども達が安全に登下校出来るような誘導棒、そういったものを主に補助対象経費として考えている所でございます。見守り活動を年間通じて行うということは、寒い時期に行うことも想定されますので、防寒効果のあるスタッフジャンパー等も補助対象とする考えでおります。詳しくは区の窓口にご相談いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

□渡辺（順）委員

犯罪についてですが、夏休みにひまわりクラブに行きまして、少年ボランティアの方4名と警察の方で、防犯について子供達に教えに行ってきました。その時今まで紙芝居が多かったんですけど、CDのようなものがありまして、テレビに映して犯罪について子ども達から見ていただきました。結果的に子供達は「絶対大きな声をあげます」と言っていました。下山は二つの教室があるんですね。一つはひまわりクラブなんですけど、子ども達が多くて、二つの部屋に分かれています。子供達にとってああいうものを見せると分かってくれるというか、答えが物凄くはっきりしておりました。今ほど後藤様が言われたように、学年別でやったほうがすごく効果があるんじゃないかと思いました。危険箇所の点検なんですけど、PTAの方から、危険箇所を提示していただきまして、別の協議会とその他の団体、育成協が混ざりまして、現場の点検をしたのですね。先生、警察の方、団体等で分かれて行った時に、危険な塀を見に行きまして、先生が物差しを持っていったんです。塀の高さを測っていましたらそこのお宅から男の方が出てきて、「何をやっているんだ」と物凄い声で怒られました。そういうことをやるということは、何かお知らせをしたほうが納得してくれると思いますし、塀が危険だということでも勝手な行動をしてはいけないんじゃないかなと思いました。

□事務局

ブロック塀の点検に関してですが、ブロック塀に限らず、総点検するにあたって、事前にしっかりと市民の方たちに伝える必要があったと今反省しております。

□斉木委員

他になければ、次の議題に移りたいと思います。議事の（3）第5次推進計画案についてです。事務局から説明をお願いします。

□事務局

<（3）第5次推進計画（案）について説明>

□大高委員

2点申し上げます。33ページの重点取り組み事項に記載のとおり、市全体と区における犯罪の特徴ですとか、防犯対策としての重点的取り組み、大変分かりやすく整理していただけたと思います。これらをきめ細かく実施していけば、犯罪の認知件数は減少すると思っておりますので、市民、自治会、事業者に対する防犯対策への呼びかけ、働きかけを徹底していただければと思うのですが、例えばご説明いただきました41ページの一番下の8防犯灯設置への支援といった新規の事業、新たな取り組みにつきましては、記載を分かりやすい表現にするように工夫をしていただいて、それを住民、自治会、事業者の方に活用していただけるようにしていただけたらと思います。以上です。

□事務局

今回41ページに追加させていただきました防犯灯設置への支援についてですが、実は以前から支援を行っておりましたが、今回改めて計画に掲載することによって市民の皆様にも周知を図れればと考えております。ご意見のほうは参考とさせていただきたいと思っております。

□廣川委員

配布資料の犯罪発生状況を見せていただきました。新潟市の刑法犯総数が減ってきておりまして、市全体の取り組み、安全安心の新潟市を構築するというこれまでの取り組みの成果が表れてきているのではないかと実感しました。大変いいことだと思いますので、更に継続するように強くお願いいたします。その中で、特にロックの日ということで、鍵かけ運動が10月に始まるようでございますが、一般的に郊外では、家のカギをあまりかけない風習があるようです。この辺のカギかけの周知ということ徹底する努力が必要ではないかと思っております。昔は隣近所の人がちょっと入ってくるということが良くあったと思っておりますが、今はどこでもカギをしっかりとかけていないと、いかなる被害にあうか分かりません。カギかけ運動をもっと強くやっていく必要があるのではないかと感じております。それに付随しまして、このデータを見ると車上狙い、自動車盗、自転車盗と沢山あるのですが、自転車にカギをかけていなければ盗まれるのが当たり前前の状況ですので、自動車盗を含めてカギをかけないという、いわゆる自己責任にかかるような問題も提起して指導していく必要があるのではないかと思っております。その辺を今後の対策の中に講じていただければと思います。

2点目ですが、先程あいさつの話が出て参りました。私は非常にあいさつは大事だと思っております。この項目は計画案の40ページから41ページに入れるのが一番よろしいのかなと思っているのですが「犯罪が起きにくいまちづくり」の中にあいさつの励行、あいさつの運動、地域全体の盛り上がりのようなことを入れたらいいのではないかなと思っております。と申しますのは、私が一言「行ってらっしゃい」と声をかけるとしょぼんとしていた子どもでも「行って来ます」と元気になるんですね。非常に可愛く感じます。子供達も変なおじさんがいたけど声かけてくれた、うれしいなといった形になると思っておりますので、やはり町総ぐるみのあいさつ運動、これは総ぐるみでやると非常にいい地域づくりになると思っております。また、環境づくりの中で、整備をするということが大事だと思っております。自分たちの居住区の中のごみ捨て場を私も見ておると、ルールを無視し、人の迷惑を顧みず、ごみを出してはいけない日に出したりすることが結構あると思っております。だらしない所があると、それこそ割れ窓理論ではないですけど、犯罪がどんどん増えると思っております。犯罪と交通違反とは違うのですが、ルールを無視した運転をする人は事故を起こしやすいと私はかねがね思っているのですが、町の中も環境整備をしっかりとやっていると泥棒も入ってこれない形になると思っております。そういった所も犯罪が起きにくいまちづくりの中に1項

目入れていただいて、今後検討されるといいのではないかと思います。

3点目、要望なんですが、先般、私の町内会の回覧に、にいがたボランティアネットワーク通信30年No.9という新潟の盗難被害の特徴を記したワンペーパーが来ました。これはカラー原本をコピーしたのかどうかわかりませんが、白黒で非常に見にくい。こういったものが回覧で回ってきても右から左というのが相場かなと思います。折角広報するので市としてはお金が高くなって大変でしょうけど、分かりやすくインパクトのある資料を出したほうがいいと思いますので、宜しく願いいたします。以上です。

□事務局

あいさつと環境整備について、この新しい計画の中に盛り込まれるようにこれから検討していきたいと思います。また、防犯発生状況のチラシが見づらいということですが、見やすく工夫をして、回覧させていただきます。

□小林委員

推進計画につきましては、非常に検討され、項目立て等がされているとっております。意見・希望としましては、情報収集、緊急点検もやられたということですので、実情に即した施策を打ってもらいたいということです。予算も色んな制約もあるでしょうが、ぜひ前向きにこの推進計画に従って具体的な施策が推進されるように希望しております。

一つ参考ですが、3年半前に、私が県警を辞める前の1年間、新発田署管内で、連続強姦、殺人、強姦未遂をやったという事件がありまして、新潟地裁で勾留請求中に窓を破って逃げた人間ですけども、一人でわずか半年のうちに3件の事件を一人でやっているんですね。

(一部省略)

夜間ボランティアでパトロールをするとか、この推進計画のとおりですけども、ただそれでも犯人から見ると、絶対やるタイミングがあるんですね。その所の情報を100%つかむのは難しいかもしれませんが、そこを関係団体、警察、行政が連携してこちらへんが危ないとか、緊急点検という話がありましたけども、新潟西の女の子が殺害された痛ましい事件についても、これは特癖だと思うんですね。子どもさんが一人になる時間を作らない、さっきの新発田の事件にしても女性が夜一人にならない所、タイミングを作らないということが大事だと思うんですね。例えば防犯講習会でそういった話をしてもらおうとか、そういったことが大事だと思います。以上参考にさせていただければと思います。

□長井委員

この計画素晴らしい計画だなと感じ、読んでおりました。小針事件とか色々見た際に、一時期ボランティアの方がいなくなって云々という話を聞いたことがあります。いつもボランティアで活動してくださる方が途切れてきているという話を聞いたことがあるのですが、ボランティアの方は非常に年取った方が多いんですよ。この人たちをいかに皆さんのほうで指導してまとめていくか、それが一番大切ではないかなと思います。素晴らしい計画ですから、そのようにしなければいけないと思うのですが、例えば民生委員とかもそうですが、ボランティアの人たちは非常に年齢が高く、今までいた人達が段々いなくなっているものですから、こういう活動をするにはほとんどボランティアが必要になると思いますので、ボランティアをまとめ、ボランティアの推進を一層努力していただきたいというお願いです。

	<p>□廣川委員 もう一点お願いということで、先ほど課長さんの説明で今後の対策の三本柱の中で子どもに関する不審者情報の範囲拡大の説明がありましたが、私は報道の範囲内でしか知り得るものではないですが、小針の事件に関連して、前兆事件的につきまといしたとか手を出したとかいう話がありました。その真偽のほどは分かりませんがこれが事実であればネットワークで流されていたのか、事実であるにも拘らず、周知をせず手をこまねいていたのか。その辺は警察の分析になるのか、市の分析になるのか分かりませんが、時としてもしそういう事実があるにも拘らず、個人情報云々ということで躊躇して、情報を出し渋ったり、遠慮したりして出すべき情報が全く伝わらなかったということでは困ります。人の生命身体に関わるような事案にあつては、色々法の縛りもあるでしょうが、それを超えながら、出来るだけギリギリの線で積極的に対応されたいかがかなと常々考えております。その辺も一つよろしくお願ひします。</p> <p>□事務局 不審者情報の件ですが、今までは地域の方に声が届いていなかったということが、今回の事件の後に分かりましたので、直接学校に登録していただく手間はありますが、コミ協さんや自治会長、町内会長さんにも不審者情報が届くように、情報の拡大ということで今進めております。</p> <p>□齊木委員 最後に議事全般を通してご意見等ありましたら、お伺ひします。</p> <p>□田中委員 私の所に「消費に関する訴訟最終告知のお知らせ」というハガキが来たんですよ。こういうのは相談する人がいない人はとても不安になって、無視するよにと言われてもついつい直接電話をかける方もいると思います。市役所の中で、小さなことでも相談して下さる所があれば、広報等で啓発して下さると助かると思います。よろしくお願ひします。</p> <p>□事務局 私どもの市民生活課でもご意見は受けておりますし、消費生活センターにも窓口を設けております。お問い合わせ先の番号には絶対に電話をしないでくださいということで周知を行っている所ですが、もし悩んでいる方がお近くにいらっしやいましたら、消費生活センターにご連絡をお願いします。</p> <p>□齊木委員 大変ありがとうございました。以上で議事を終わりたいと思います。活発な意見をいただきまして、誠にありがとうございました。他に何か折角の機会ですので、何かご意見があれば承りますが、よろしいでしょうか。大変お疲れさまでした。スムーズな進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。以上で議事を終わります。事務局にお返しします。</p> <p>□事務局 大変お疲れさまでした。以上で新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会を閉会いたします。</p>
報 道	なし

傍聴者	なし
-----	----